

報道各位

【世界初！】生分解性プラスチックを用いたPBA T由来の 海洋資材「生分解性刺網」を開発しました

ニチモウは2023年3月期からの3ヵ年計画「第137期中期経営計画(Toward the next stage)」の最大のテーマとしてサステナブル経営の推進を掲げ、温室効果ガス（主にCO2）と海洋プラスチックごみ削減への取り組みとして生分解性プラスチックを用いた海洋資材（漁網・ロープ・たこ壺など）の実用化に向けた研究開発を促進し、企業価値の向上に努めております。

この度、横山製網㈱、ミヤコ化学㈱、当社グループ会社の北海道ニチモウ㈱と共同で世界初となる生分解性樹脂であるPBA T[注※]を主原料とした「生分解性刺網」を開発いたしました。

海洋環境保全に向けた課題のひとつであるゴーストフィッシング(幽霊漁業)を引き起こす原因として海洋流出した刺網であるとの見方があります。生分解性である本製品は荒天時等の流出した際に海に着底後、加水分解による物性低下によりゴーストフィッシングを抑制することに期待ができます。

また、刺網の販売は海外への輸出が大部分を占めており、本製品の海外展開を推し進めることで諸外国でも問題となっている海ごみ問題の解決にも貢献していきます。

今後、実漁獲試験を北海道の函館・南かやべ漁協尾札部支所所属の宗栄丸のスケトウダラ漁にてナイロン製刺網と本製品を組み合わせる予定しております。



生分解性刺網



実漁獲試験を行う宗栄丸

今後ともニチモウグループは国際的に通用する環境に配慮した漁具資材の開発を進め、『浜から食卓までを網羅し繋ぐ』を合言葉に、ステークホルダーのみなさまの豊かで健康な生活づくりに貢献できる企業を目指してまいります。

以上

[注※] PBA T (ポリブチレンアジペートテレフタレート) : 石油由来の生分解性素材